

## OIST の 10 年後見直しに向けた評価について（案）

### 【学園法附則第 14 条】

（検討）

第十四条 国は、この法律の施行後十年を目途として、学園に対する国の財政支援の在り方  
その他この法律の施行の状況について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

### I 評価の方向性

OIST の研究・教育、沖縄への貢献、ガバナンス、財務それぞれの面から評価を行う。また、最終的な評価の視点の作成に当たっては、できる限り定量化された指標を用いるとともに、今年度を実施する沖縄振興推進調査を活用する。

#### （1）研究・教育

学園法の目的に基づき、世界の科学技術の発展への貢献について評価する。

#### （2）沖縄への貢献

学園法の目的に基づき、沖縄の振興及び自立的発展への貢献について評価する。

#### （3）ガバナンス

（1）（2）のほか、学園法等に基づく適切な運営がなされているかについて評価する。

#### （4）財務

国の財政支援の在り方を検討するために必要な、以下の 2 点から評価する。

- ① 予算執行の有効性、効率性、適切性
- ② 自律的財政基盤の構築

### II 研究・教育

#### ① 研究

【基準】国際的に卓越した科学技術に関する研究がなされているか。

【評価の視点】

以下の事項について、世界、日本の大学等、とりわけベンチマークとなる大学（カルテック等）と比較して評価する。

- ・論文の数

- ・論文の質（10%論文率、1%論文率、国際共著率、三大誌掲載数等）
- ・受賞、ランキングなど、その他研究への評価がわかる事項
- ・競争的資金の獲得額、獲得率
- ・学会、シンポジウム等開催数
- ・大学や企業との連携や共同研究の数と内容
- ・その他日本と世界の科学技術や学術への貢献

## ② 教育

【基準】国際的に卓越した科学技術に関する教育がなされているか。

【評価の視点】

- ・志願者数、志願倍率
- ・志願者の国際性、レベルのわかる事項（出身国、出身大学等）
- ・在校生のレベルのわかる事項（論文、受賞等）
- ・在校生へのヒアリング
- ・在校生へのサポート（学生相談、就学援助等）
- ・卒業生の進路
- ・卒業生へのヒアリング
- ・その他 OIST に特徴的な教育内容（ラボローテーション等）

## Ⅲ 沖縄の振興及び自立的発展への貢献

### ① 教育研究

【基準】沖縄の特性や資源を活かすなど、沖縄の振興に資する教育研究がなされているか。

【評価の視点】

- ・沖縄の特性や資源を活かした研究の数と内容
- ・沖縄県など、地元より資金を得ている研究の数と内容
- ・沖縄県内の大学や企業等と連携している研究の数と内容
- ・沖縄県内の大学や研究機関との学術交流の数と内容
- ・沖縄出身の教員、職員、学生の数

### ② 地域交流

【基準】沖縄県民との交流を通じ、沖縄の教育や科学技術の発展に貢献しているか。

【評価の視点】

- ・地域交流イベントの数と内容、参加者数
- ・出張授業など、沖縄県民向け教育啓発活動の数と内容、参加者数
- ・沖縄科学技術大学院大学発展促進県民会議の活動等、地元自治体、経済界との連携の状況

- ・ 地元自治体（沖縄県、恩納村）へのヒアリング
- ・ 沖縄県民の認知度、イメージ（P）
- ・ 沖縄出身の教員、職員、学生の数（再掲）

### ③ 産学連携

【基準】産学連携、さらにイノベーション・エコシステム（知的産業・クラスター）の形成は進んでいるか。

【評価の視点】

- ・ 産業共著論文数、率
- ・ 企業との共同研究、受託研究の数と資金獲得額
- ・ インキュベーター施設への入居数、実績
- ・ OIST 発ベンチャー企業の数と実績
- ・ 特許の数と関連収入額
- ・ 地元自治体、地元企業、金融機関、連携支援機関（産総研等）等へのヒアリング
- ・ その他イノベーション・エコシステム形成に向けた取組（POC 等）

### ④ その他沖縄への貢献

【基準】OIST の存在、活動は、沖縄や沖縄経済に貢献しているか。

【評価の視点】

- ・ 沖縄出身の教員、職員、学生の数（再掲）
- ・ OIST のブランド効果（P）

## IV ガバナンス

### ① 組織運営

【基準】学校法人として、大学院大学として OIST は適切に運営されているか。特に、学園法に基づく特例措置の状況はどうか。

【評価の視点】

- ・ 理事会、評議員会の運営状況（理事の選任状況（第7条）等）
- ・ 監事の活動状況（監事報告の内容等）
- ・ 事業計画の内容（振興計画との調和（第9条第2項）等）
- ・ 不祥事等（事件、事故、訴訟）への対応
- ・ その他 OIST の組織上の特徴
  - 国際性（外国人スタッフ、英語公用）
  - 学際性
  - 学長と理事長の兼任
  - C00、プロボースト、副学長の活動

## ② 広報

【基準】 沖縄、日本、世界のそれぞれにおいて、OIST の知名度とイメージは向上しているか。

【評価の視点】

- ・ 地元、国内、海外それぞれのマスコミにおける OIST 関連記事数とその内容
- ・ プレスリリース等広報の数と内容
- ・ シンポジウム等イベント開催数（再掲）
- ・ OIST 訪問者数
- ・ 沖縄県民の認知度、イメージ（再掲）(P)

## ③ その他

- ・ 男女共同参画の状況
- ・ 施設整備の状況
- ・ 情報化の状況
- ・ 情報公開

## V 財務

### ① 予算執行の有効性、効率性、適切性

【基準】 これまでの予算について、有効、効率的かつ適切な執行がなされているか。

【評価の視点】

- ・ これまでの予算額と執行状況（繰越、不用等）
- ・ 会計検査指摘事項等、不適切な執行とそれへの対応
- ・ OIST の活動のコストパフォーマンスを示す事項（PI や論文当たりの予算額等）

### ② 自律的財政基盤の構築

【基準】 自律的財政基盤の構築に向けて進捗しているか。

【評価の視点】

以下の事項について、世界、日本の大学等と比較し評価する。

- ・ 外部資金獲得額、自己資金比率
  - 競争的資金
  - 共同研究、受託研究
  - 国内外の助成金
  - 寄附
- ・ 外部資金獲得に向けた取組